

越前市の新たなスポーツや文化・芸術活動環境の構築について基本的な考え方

部活動の地域移行について、令和4年6月にはスポーツ庁から、「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」、令和4年8月には文化庁から「文化部活動の地域移行に関する検討会議提言」が出されました。そこでは、活動の教育的意義が示される一方、生徒数の減少による活動の持続可能性についても言及されています。

そこで、将来的には活動の基盤を学校単位から地域単位の取り組みにすることが示されており、具体的なスケジュールとしてまずは、令和5年度から令和7年度までに、休日の中学校の部活動から地域に段階的に移行していく方針が示されています。

越前市教育委員会では、スポーツ等の競技団体や文化・芸術関係団体の代表の方々や、学識経験者等による「越前市の子どもの新たな活動環境に係る検討委員会」を設け、各団体の考えを伺いながら「越前市の子どもたちが将来にわたり、スポーツや文化・芸術に親しめる機会の確保」に向けて検討しているところです。

以下、検討委員会の構成メンバーになります。

No.	団体名	区分
1	仁愛大学	学識経験者
2	越前市PTA連合会	保護者代表
3	越前市スポーツ協会	スポーツ関係
4	越前市スポーツ少年団本部	スポーツ関係
5	越前市スポーツ指導者協議会	スポーツ関係
6	越前市スポーツ推進委員協議会	スポーツ関係
7	越前市総合型地域スポーツクラブ	スポーツ関係
8	県中学校体育連盟南越支部	スポーツ競技関係

No.	団体名	区分
9	越前市文化協議会	文化関係
10	越前市文化振興・施設管理事業団	文化関係
11	越前市青少年吹奏楽団	文化関係
12	市教育研究会音楽部会	文化団体
13	中学校校長会	教育関係
14	小学校校長会	教育関係
15	部活動指導員	指導者代表
16	クラブ代表	クラブ関係

第1回検討委員会 令和4年10月26日(水)

第2回検討委員会 令和4年12月21日(水)

第3回検討委員会 令和5年2月(予定)

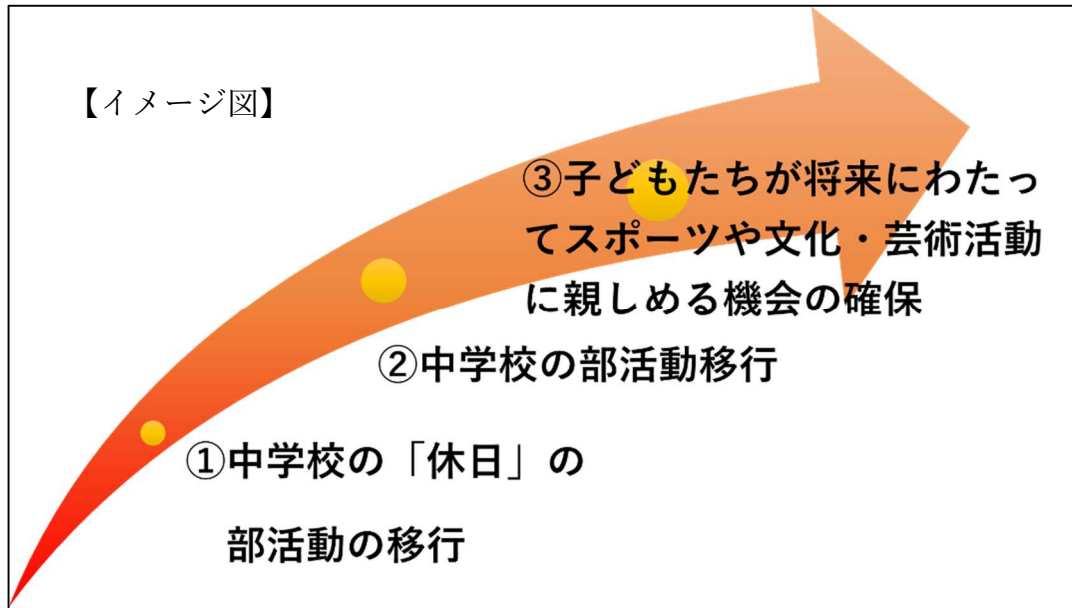
今後、以下の考えのもと、検討委員会で議論を進めて参ります。

- 1 少子化の中でも将来にわたり越前市の子どもたちが、スポーツや文化・芸術に継続して親しむことができる機会を確保する。
- 2 越前市の子どもたちが、自発的な参画を通して「楽しさ」・「喜び」を感じ、自己実現を図りながら活動できる場を整備する。
- 3 地域の持続可能で多様なスポーツや文化・芸術の環境を一体的に整備し、子どもたちの多様な体験機会を段

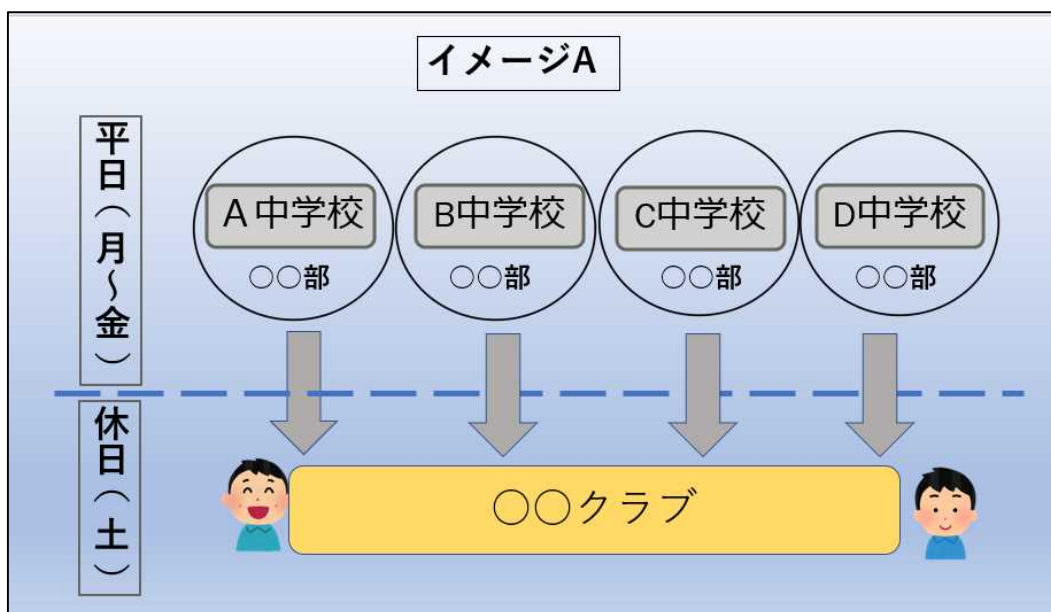
階的に確保する。

特に、中学生の「休日」の移行については、3層構造の第3層として次のように考えます。

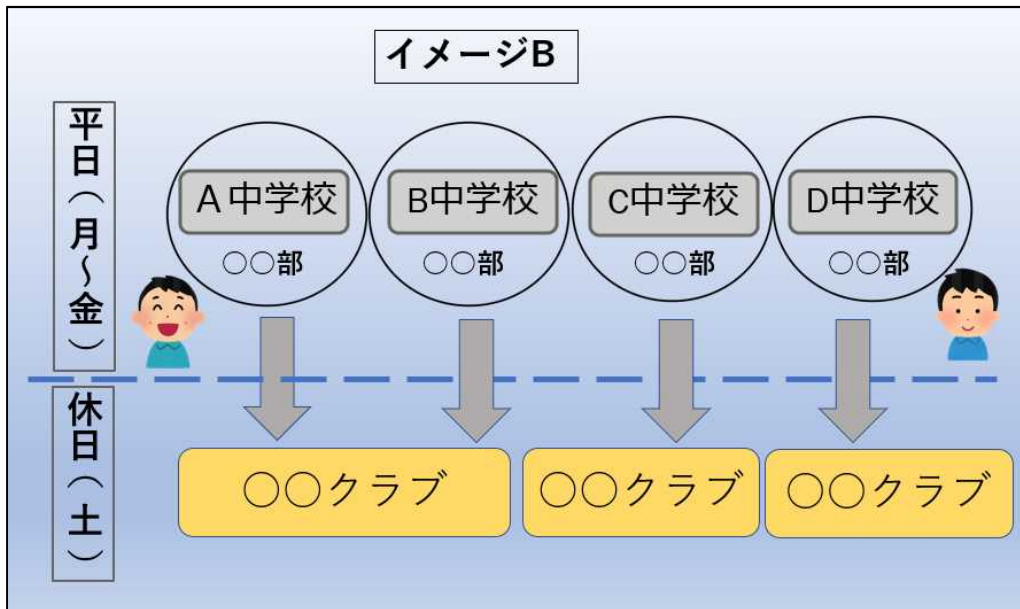
- ① 越前市の子どもたちが将来にわたって、スポーツや文化・芸術に親しめる機会を確保するという大きな視点を第1に考える中で、
- ② 世代を中学校に限定して、中学校の部活動の移行をどう解決していくかを第2に、間口を狭め、そして、
- ③ その中の一部分として、中学校の「休日」の部活動の移行をどうするかを第3として、議論していきます。



中学生の休日の活動の移行イメージ

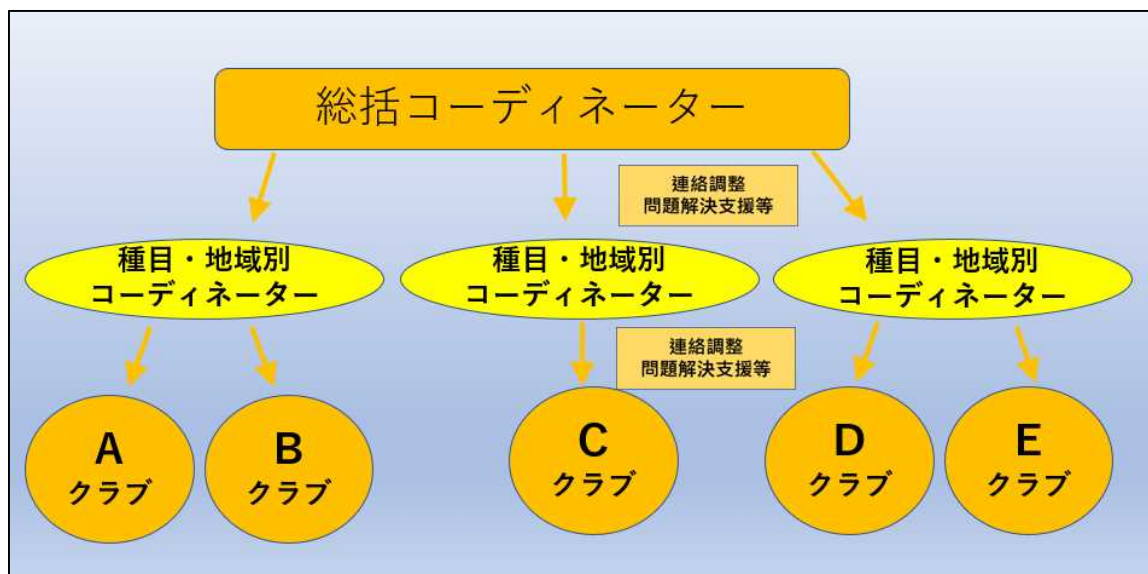


イメージAでは、活動を行いたい生徒が各中学校から1つのクラブに集まってくることを想定しています。



イメージBでは、中学校ごとに、または複数の中学校の生徒が1つのクラブに集まってくる。
 いずれにしても、種目によって適した方法で移行を進めていきます。

コーディネーターの配置（案）



活動している生徒や保護者との連絡調整役として「種目・地域別コーディネーター」を置きます。（図参照）。
 この配置の仕方については、種目や地域によって様々なパターンが想定されますので、最良の形で配置していき
 たいと思います。

「種目・地域別コーディネーター」のとりまとめ役として、「総括コーディネーター」を配置します。役割とし
 て、各種目の活動の運営をサポートしていきます。